

令和元年 8 月 2 7 日		時 分 受 理	受付順位	
			発言順位	
<b>発 言 通 告 書</b>				
藤枝市議会議長 藪崎 幸裕 様				
藤枝市議会議員 3 番 遠藤 久仁雄 ㊞				
次のとおり通知します。				
発言の種類	代表質問	一般質問	緊急質問	
1. 標 題	あつてはならない校舎からの転落事故 ～安全対策は十分と言えるだろうか～ 答弁を求める者（市長、教育長）			
<p>(要旨・内容)</p> <p>全国を見渡すと、登下校の交通事故を含め、児童・生徒が学校での事故により尊い命を落としたり、重大な怪我を負うことが後を絶たない。元来子どもは、大人が予期しない行動をとるものであり、そのためこれまでも小中学校においては、事故防止のため、あらゆる指導がなされてきているはずである。本市では、最近他市で発生した痛ましい交通事故を受けて、早速主要交差点に於ける車の侵入防止のガードレールを設置するなどの対策に取り組んでいる。</p> <p>学校での事故を一つでも減らすため、校舎からの転落という重大な事故に焦点を当てることにより、一層の安全対策を強化されたいと願うものである。以下、校舎からの転落事故に絞っての質問を行う。</p> <p>(1) 平成の時代およそ30年間に、藤枝市内の小中学校(27校)で、校舎の2階以上から児童・生徒が転落した事故は何件あったのか伺う。また、県内の他市町の状況はどうか併せて伺う。</p> <p>(2) 本市の転落事故について、学年・性別の他に事故の概要を伺う。</p> <p>(3) 教育委員会及び各校においては、校舎からの転落事故防止のため、どのような指導をしているのか伺う。</p>				

(※ 内容は詳細に記入してください。)

2. 標 題	今、「学校図書館司書」の活用が求められている 答弁を求める者（市長、教育長）
<p>(要旨・内容)</p> <p>市内の各小中学校には、立派な図書館（図書室）が設置され、多くの蔵書を抱え、そこは校内の知の宝庫と言ってもよい場所であろう。授業での使用のほかに、昼休みの開館や本の貸し出しなど、幅広く利用されている。</p> <p>さて、その図書館の管理運営に携わるのが「司書教諭」である。校長がその学校に勤めている教諭の中から、司書の資格を持つ者を任命する。ところが、この「司書教諭」は、他の教員と同じように学級担任であったり、多くの授業時間数を持ち、部活動やその他の校務分掌もこなす。よって図書館に常時足を運べないほど多忙な勤務状況である。</p> <p>そんな「司書教諭」に代わり、図書館の蔵書整理や、良書の紹介、貸し出し、掲示など、多くの仕事を請け負っているのが時間給で雇われている「学校図書館司書」である。かつては荒れ放題の図書館が多かったが、平成21年4月から市内で初めて2名の「学校図書館司書」が採用され、4校の図書館での勤務が始まった。そして平成23年からは市内の全校に「学校図書館司書」が配置されたことは、大変な進歩であったと評価する。しかし実態は、その後14人で27校の小中学校を兼務している状態が現在まで続いている。</p> <p>藤枝市が日本一を目指して掲げる4K（健康・教育・環境・危機管理）施策の中で、教育は現在かなりの水準に達していると思われる。ペッパーを使ったプログラミング学習、電子黒板等の環境整備、17名ものALTによる全校での英語授業、一人ひとりに寄り添った特別支援教育など枚挙に遑がない。これに加え図書館の活用が高まれば、実質ともに教育日本一に近づくことになると考え、以下の質問を伺う。</p> <p>(1) 小中学生の読書の大切さを、どのように評価しているか。</p> <p>(2) 市内の小中学校において、現状の図書館活用は充分なのか。</p> <p>(3) 市内の小中学校に勤務する「学校図書館司書」の勤務実態を、市としてどのように把握しているか。</p> <p>(4) 藤枝市の学校図書館司書の勤務形態（1名を除き、他の13名は2校に勤務）について、この形態を良しとするのか。</p>	

(※ 内容は詳細に記入してください。)